

北日本新聞の記事を読んで

野田 悠月

新聞で、イノシシの捕獲技術を学ぶとい
う記事を見つけました。気になつて読んでみ
ると、イノシシから畑や田んぼを守るため
特性を学習し、効果的な捕獲おりの設置の仕
方の講習会を開いたと書いてありました。

私の祖父母は山間のある集落に住んでいま
す。田んぼや畑が広がり、晴れた日は立山連
峰もきれいに見えます。しかし、最近イノシ

シやサルが増えて、畑になつている野菜
をとったり、家に入られたりしているそう
です。また、サルは祖父がいると逃げていくの
に、祖母だとにらんでいかくしてきたりする
そうです。そこで、家の鍵をきちんとかけた
り、野菜を外に置いておかないなど注意して、
さらに畑に電気柵をしかけたそうです。それ
でも土をほいくり、野菜をうばつていくので
効果はあまりないそうです。

私はこの話を聞いて、祖父母は大変なんだ

なと思いましたが、サルやイノシシたちがかわいそうだと思いました。

人間が自然をあらしたから野生動物たちの住む場所やえさがなくなつて、仕方なく下りてきたのに下りてきたら捕獲されるなどの様々な方法で追い返されてしまふからです。そんな状況でも、野生動物は知恵を絞り生きています。今人間が、サルやイノシシなどの野生動物の被害に困つている原因は人間が自然をこわしたからだと思ふので、それをどちらにも不利益がないように解決するべきは人間だと私は思います。自然をこわしてまで建てた建物はそこまで価値があるのかわかりませんが、それはきつと一部の人間にしか必要ではないと思います。だからせめて木を植えたり、木の使用量を減らしたりするべきです。

私は、少しでも自然を守るために電気や水を使う時に「ここに本当に電気や水を使つても無駄ではないか」を意識して生活していきたいと思います。